

撤収手順

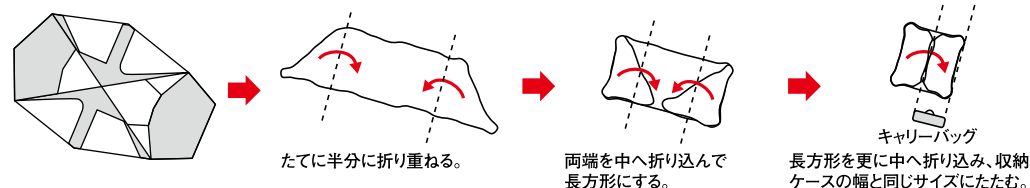
STEP 1

フライシートを固定したベグ、ロープ、フック、内側にあるベルクロテープをすべて外します。フライシートをインナーテントから完全に取り外し、下図のようにしてたたみます。



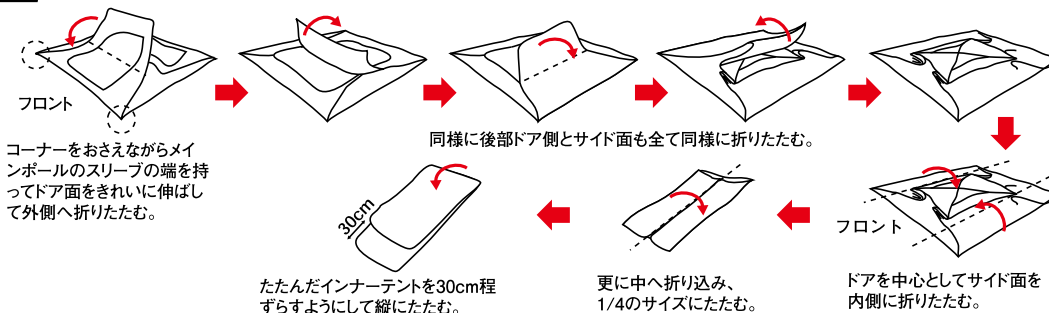
注意

テントを濡れたままで収納すると防水効果が著しく損なわれ、色移りや、カビ発生の原因となる為、ご使用後はフライシート・インナーテントの、汚れをよく落とし、十分乾かしてから収納・保管してください。



STEP 2

インナーテントのポールをすべて外し、空気を逃がすために前後のドアの下部をあらかじめ開けておいてから、四隅をきれいに広げ四角形になった状態で、下図のようにしてたたみます。



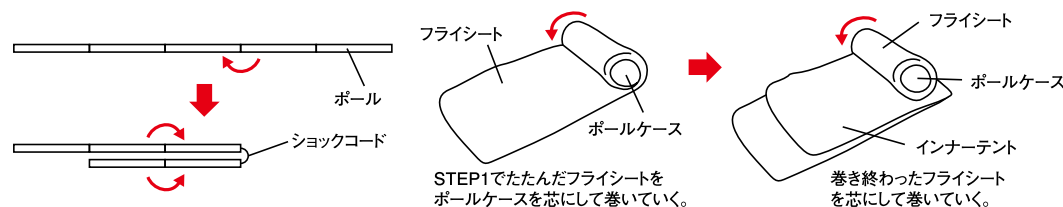
STEP 3

ポールを全ておりたたみポールケースに収納します。フライシートとインナーテントを下図のように巻いて、キャリーバッグに収納して完了です。



注意

ポールを収納する際は、中央付近から折りたたむようにすると、ショックコード(ゴム)全体に均一にテンションがかかり、ショックコードの寿命を伸ばす事が出来ます。キャリーバッグに収納する際は、固く巻かないと入らない場合があります。



MAX WIDE DOME / 420

[マックスワイドドーム / 420]

取扱い・組立て説明書



コールマンジャパン株式会社

お問い合わせ先

コールマンカスタマーサービス: **0120-111-957**

受付時間: 月曜日～金曜日(祝祭日を除く) 10:00～17:30

この取扱い説明書は大切に保管してください。

この度はコールマン製品をお買い上げいただき誠に有難うございました。設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、石や木の枝等、本製品を傷つけるおそれのあるものは、あらかじめ取り除き、整地してから設営してください。

組立・使用上の注意及び禁止事項

危険 この警告を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、人が死亡、または重傷を負う事故が想定される内容を表しています。

- テント内での火気の使用は、大変危険です。一酸化炭素中毒等、生命をおびやかすおそれがありますので、絶対におやめください。
- 台風、暴風雨、落雷等の異常気象の際は危険ですのでテント、タープの使用はお避けください。
- 河原や中洲、崖下などの増水、落石の危険のある場所でテント、タープを設営しないでください。

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

- キャンプ場へお出かけの前に全ての部品が揃っているか確認してください。
- テント、タープの設営は基本的2人以上で行ってください。無理な設営はポールや本体破損の原因となります。
- テント、タープの設営の際は保護用に手袋などを着用してください。
- ポールを伸ばす際は各節を完全に差し込んでください。指などを挟まないように注意してください。また周囲に十分に注意してください。近くに人がいないことを確認してください。
- テント本体を立ち上げる際はポールやスリーブの破損やね返りに注意してください。
- ペグを打つ際にハンマーで指などを打たないように注意してください。
- 小さいお子様にポールやペグの組立作業をさせないでください。
- 風が強い時または、強風が予測される場合はテント、タープの設営を行わないでください。本体が飛ばされて思わぬ事故やポール折れ、本体破損の原因となります。
- テント、タープ設営の際は水はけが良く、できるだけ平らな場所を選んでください。また、風の影響を受けにくい場所を選んでください。
- 石や木の枝等、テント、タープを傷つけるおそれのあるものはあらかじめ取り除き、整地してから設営してください。
- テント、タープ本体は必ずペグとロープで確実に地面に固定してください。風で飛ばされたり雨水が溜まって思わぬ事故につながる場合があります。
- テント、タープを設営する場所によっては付属のベグが使用できない場合があります。あらかじめ行かれる場所の地面の状態を確認して適切なベグをご用意ください。
- テント、タープから長時間離れる場合は必ず撤収してください。急な天候の変化、突風などにより、テント、タープが飛ばされて思わぬ事故の原因となります。

結露について
テントのフライシート、タープの生地には防水加工が施されていますので、外気との温度差が大きいと生地の内側の壁面に水滴がつくことがあります。これは水漏れではありません。テントのフライシート、タープ内の空気を循環させ換気を行うことで結露の発生を低減することができます。

収納・管理の注意

注意 この注意を無視して誤った組み立て方や使い方をすると、事故やケガといった人的傷害、または物的傷害の発生が想定される内容を表しています。

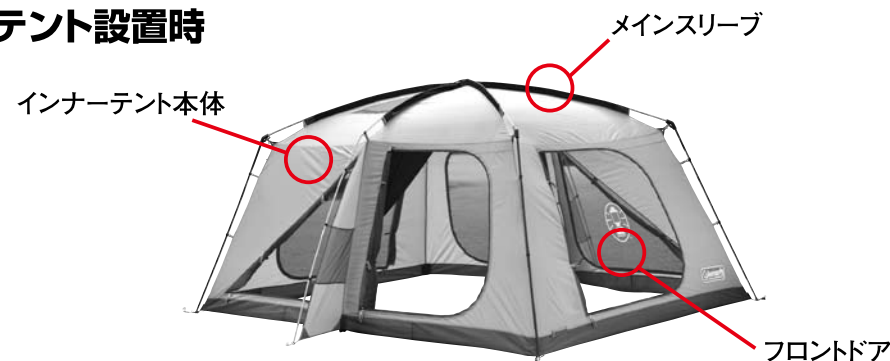
- 使用後は汚れを落とし、十分に乾かしてから収納、保管してください。濡れたままの状態での収納すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
- 撤収時、雨などで本体を乾かせない場合は、持ち帰ったあとできるだけ早く乾燥させてください。そのまま放置すると防水効果が著しく損なわれ、色移り、カビ発生の原因となります。
- 汚れを落とす場合は、固く絞った布で拭き取りよく乾燥してから保管してください。
- シンナー、ベンジンなどの有機溶剤の使用は、色落ち、変色およびプリントや樹脂加工の剥がれの原因となります。
- ポール本体に付いた水分や砂、土はきれいに拭き取ってから収納してください。また、濡れたまま収納すると腐食の原因となります。
- 本体、収納ケースは洗濯しないでください。
- 幼児、子供の手の届かない場所に保管してください。

各部の名称・セット内容

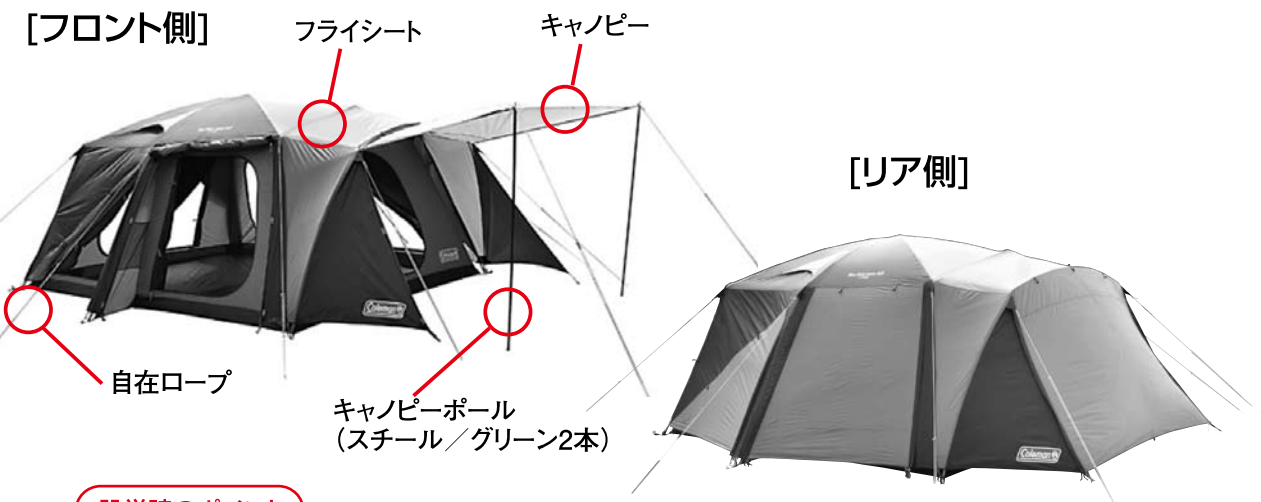
セット内容 お出掛けになる前に一度、パーツ等の不足がないかご確認ください。

- | | | |
|---------------------|-----|--|
| ●本体(インナーテント) | 1張 | |
| ●フライシート | 1張 | |
| ●ルーフポール(グレー) | 2本 | |
| ●コーナーポール(グリーン) | 4本 | |
| ●フロントポール(ブラック) | 1本 | |
| ●センターポール(イエロー) | 1本 | |
| ●パイザーポール(グレー) | 2本 | |
| ●キャンピポール(スチール/グリーン) | 2本 | |
| ●自在ロープ(グリーン) | 10本 | |
| ●スチールベグ | 21本 | |
| ●プラスチックベグ | 6本 | |
| ●インナーテントディバイダー | 1枚 | |
| ●ハンマー | 1ヶ | |

インナーテント設置時



フライシート設置時



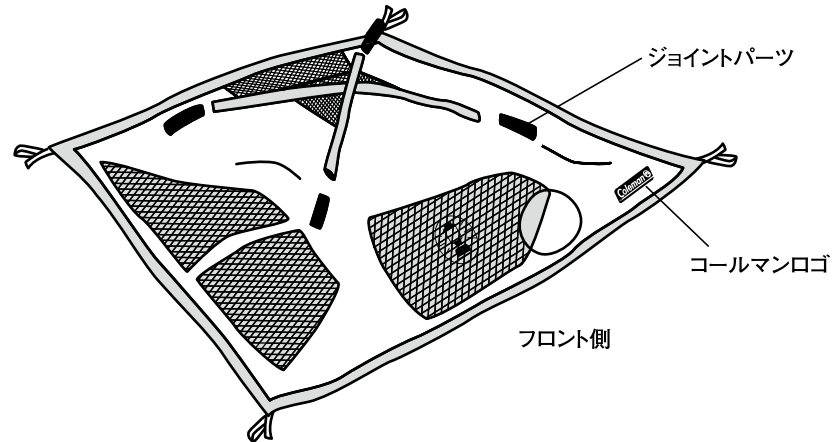
設営時のポイント

本製品は、各ポール、スリーブ、ループの一部に塗装を施しており、ポールをスリーブに通す際やループのエンドグリップにセットする際は、それぞれ同じ色のパーツにセットすることで、簡単に設営できます。

設 営 手 順

I インナーテントを広げる

STEP 1 インナーテントを広げます。
コールマンロゴおよびメッシュドアにランタンマークのある方がフロント側になります(前後対称です)。空気が入りやすいように、あらかじめ前後のドアのファスナーは一部開けておきます。

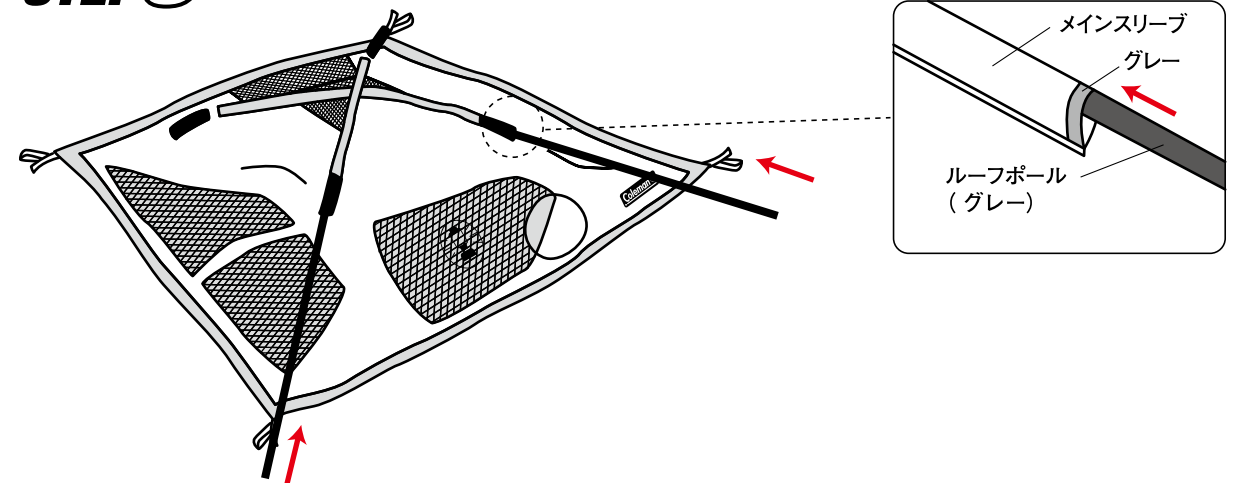


II 屋根部分を組み立てる

STEP 2 ルーフポール(グレー)2本を伸ばします。

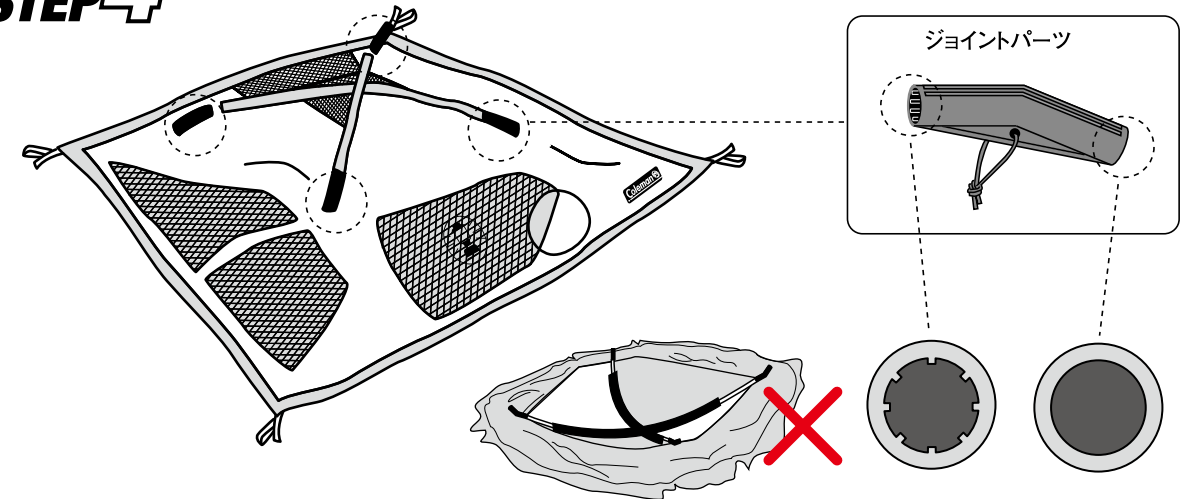
注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 3 ルーフポール(グレー)をメインスリーブ(端がグレー)に通します。



注意 スリーブに通す際は引っ張らず必ず押し入れてください。

STEP 4 ルーフポールの端をジョイントパーツに差し込み、屋根部分を組み立てます。



注意 ジョイントパーツの上下の向きに注意してください。内側にギザギザのついている方が上(ルーフポール)側です。

注意 ポールのはね返りで屋根がおわん型にならないようにしてください。ポールが折れる可能性があります。

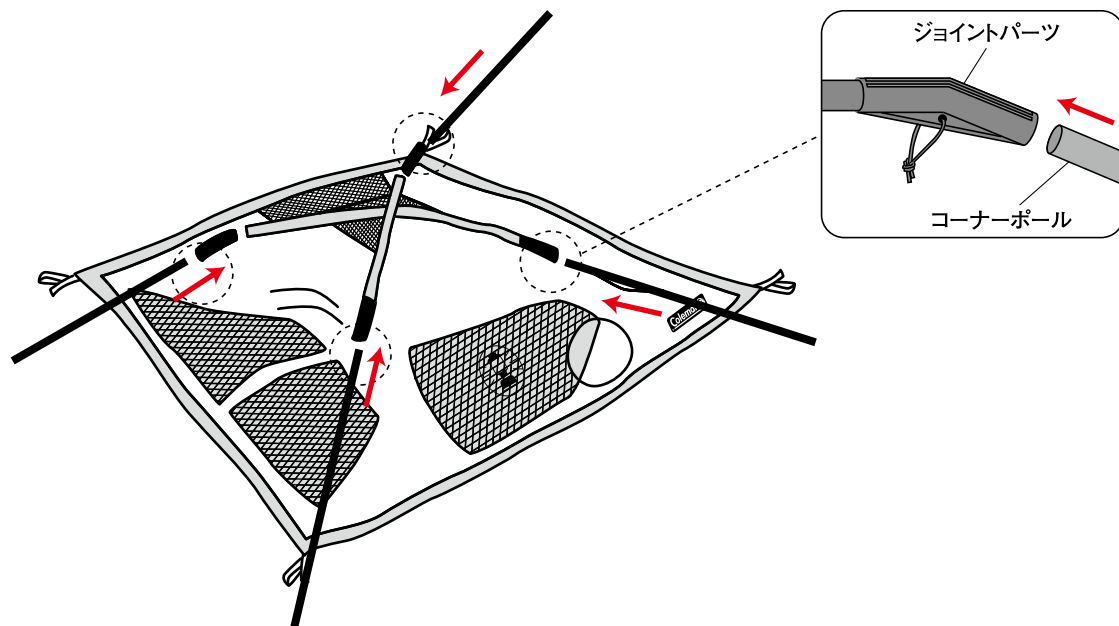
III 本体を立ち上げる

STEP 5 コーナーポール(グリーン)4本を伸ばします。

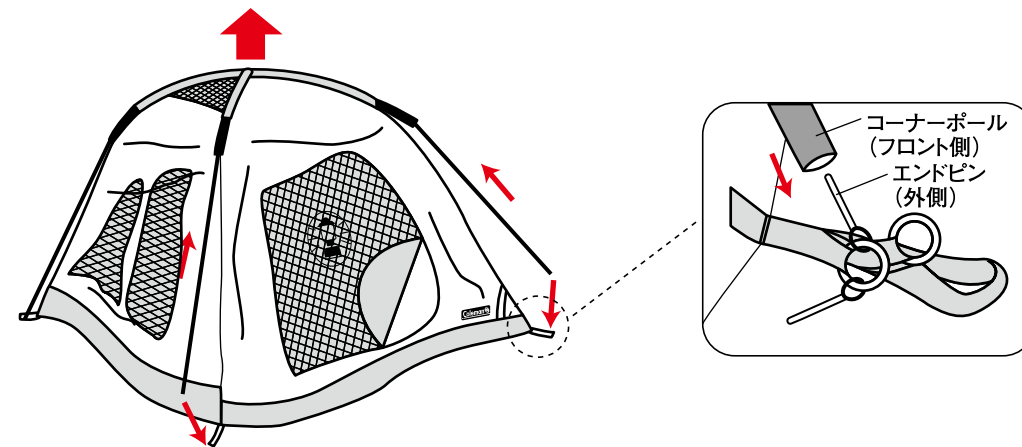


! **注意** ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 6 ポールの端をジョイントパーツに差し込みます。

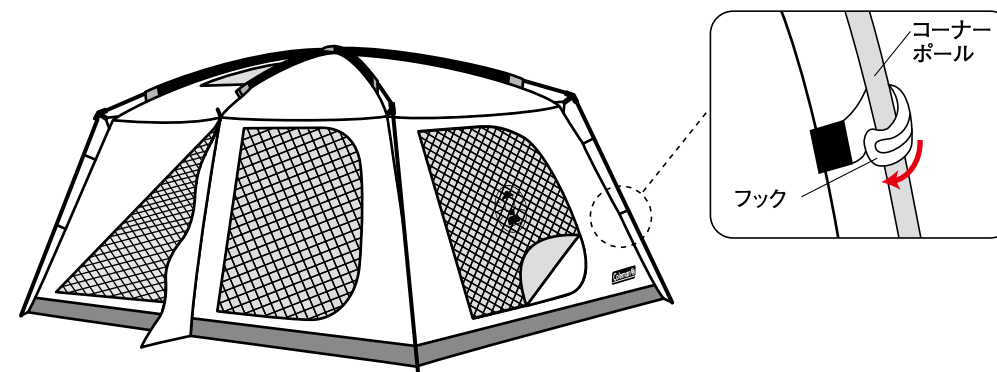


STEP 7 コーナーポールの端を、インナーテントのコーナーにあるループについているエンドピンに差し込み、本体を立ち上げます。2つのエンドピンのうちの外側にそれぞれ差し込みます。



! **注意** ポールをエンドピンに差し込む際、指などはさまないように注意してください。

STEP 8 インナーテントについているフックをコーナーポールにかけ固定します。



! **注意** フックをポールに掛ける際、指などはさまないように注意してください。

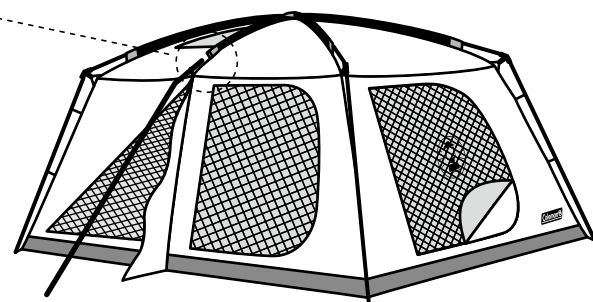
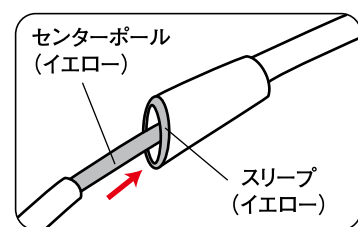
IV センターポールをセットする

STEP 9 センターポール(イエロー)をのばします。



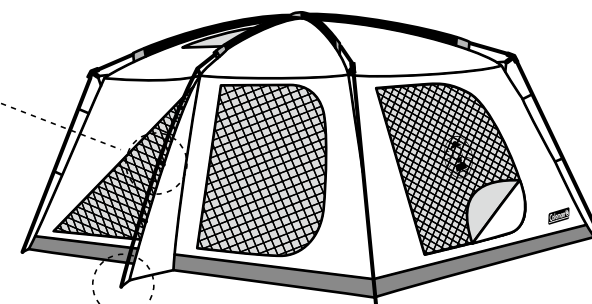
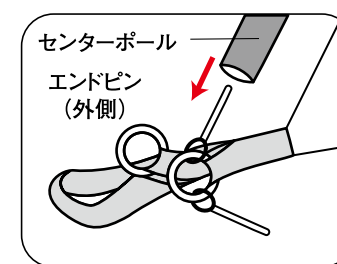
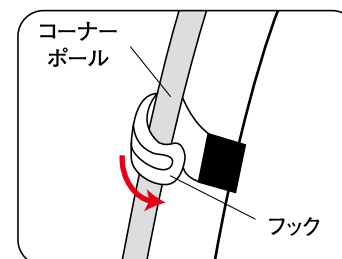
! **注意** ポールを伸ばす際には、各部を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 10 センターポール(イエロー)をスリーブ(端がイエロー)に通します。



! **注意** ポールをエンドピンに差し込む際、指などをはさまないように注意してください。

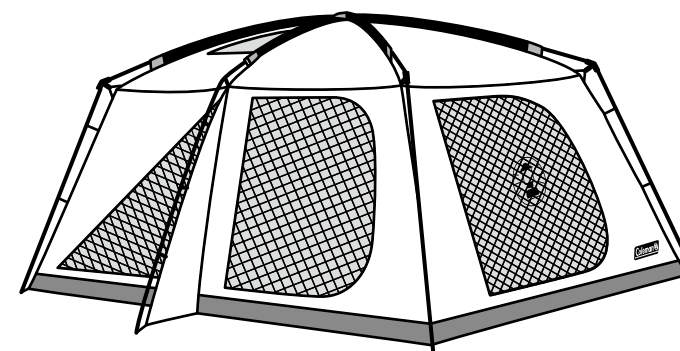
STEP 11 センターポールの端を、インナーテントの中央にあるフラップについているエンドピンに差し込みます。フラップについているフックをポールにかけ固定します。



! **注意** フックをポールに掛ける際、指などをはさまないように注意してください。

V 設営位置を決め固定する

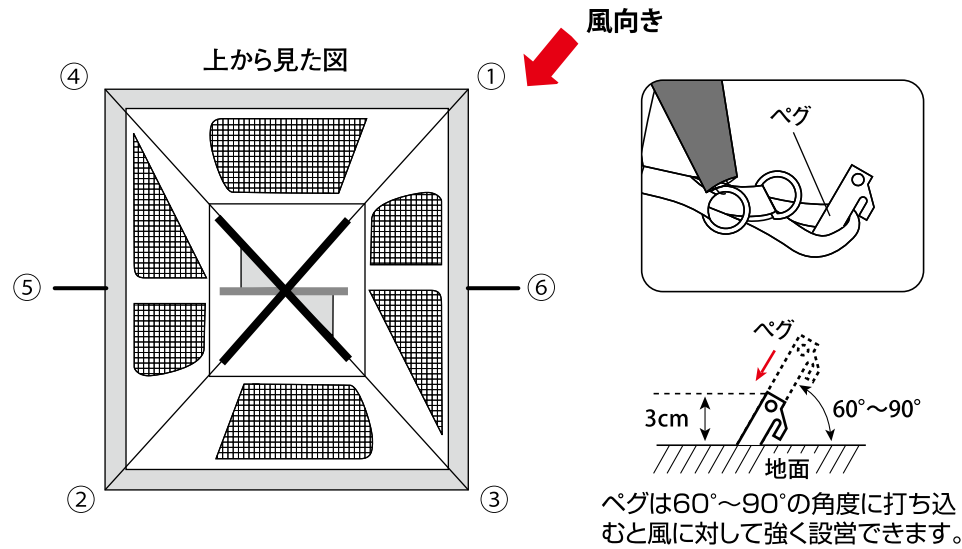
STEP 12 前後のファスナーをすべて閉めます。



! **注意** ファスナーを開けたまま設営すると、ペグで固定した際にドアが閉まらなくなることがあります。

STEP 13

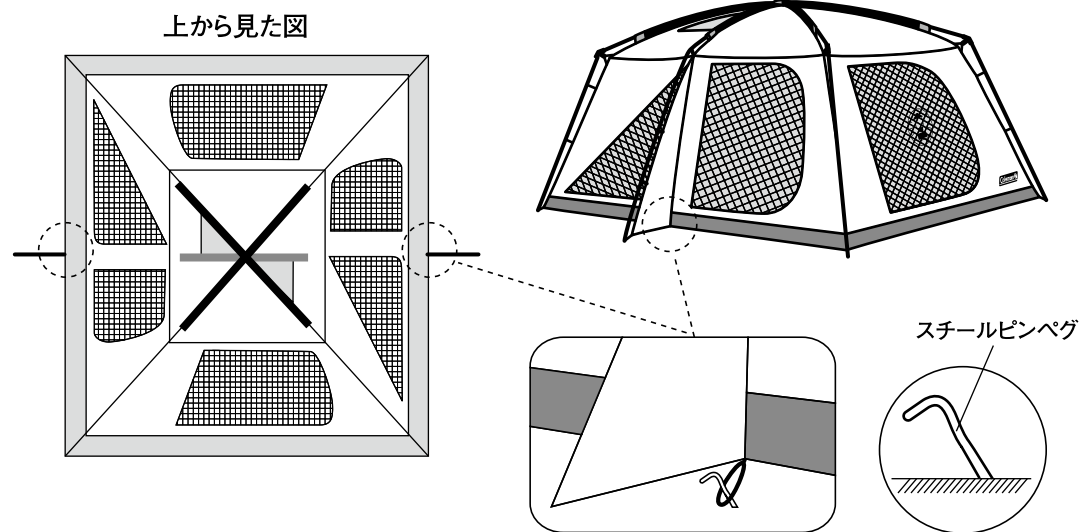
設営位置を決め、図のように6カ所のループを風上より①から⑥の順で対角線にペグを打ち込み、テントを固定します。



注意 フロアにシワがなくなるように、ループを少し引っ張りながらペグで固定してください。

STEP 14

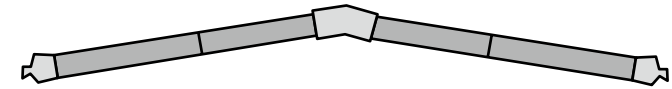
図のように、インナーテント中央部のループにペグを打ち込み、テントを固定します。



VI バイザーポールをセットする

STEP 15

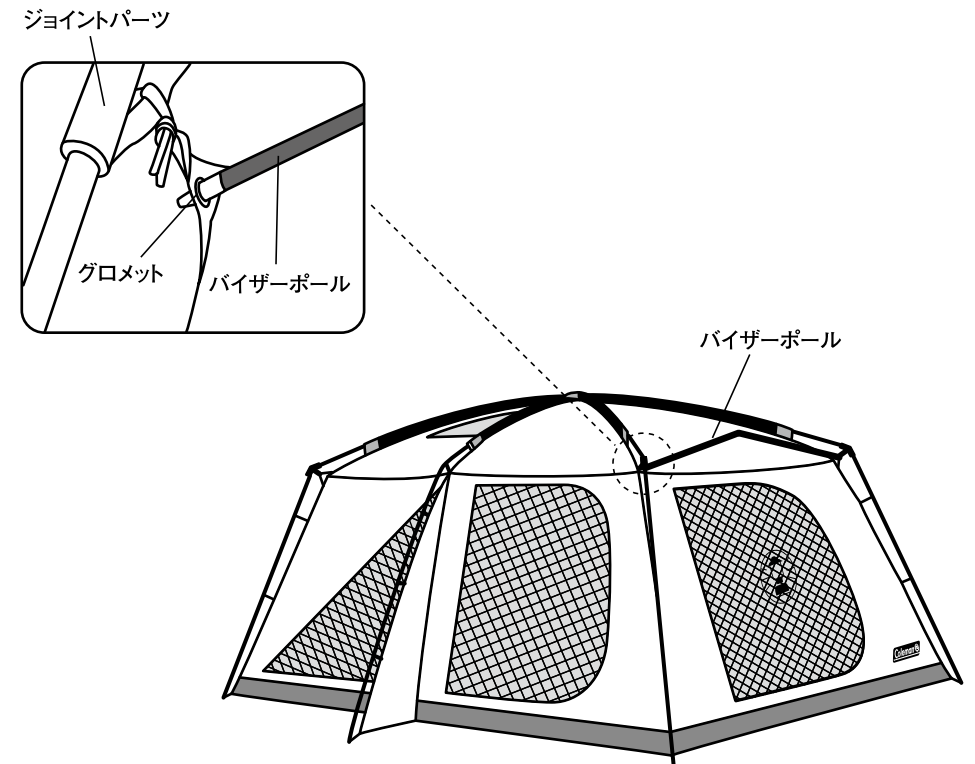
バイザーポール(グレー)2本をのばします。



注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

STEP 16

バイザーポールの両端を、ジョイントパーツをとめているフラップのグロメットに差し込みます。(前後2カ所)
STEP-18でフライシートをかぶせた時に、前後室をささえるために必要になります。



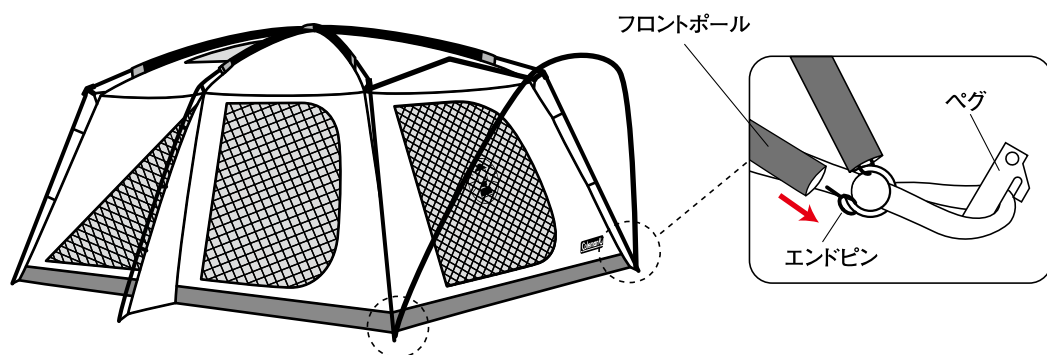
VII フロントポールをセットする

STEP17 フロントポール(ブラック)をのばします。



注意 ポールを伸ばす際には、各節を完全に差し込んでください。不十分な場合、ポールが折れる可能性があります。

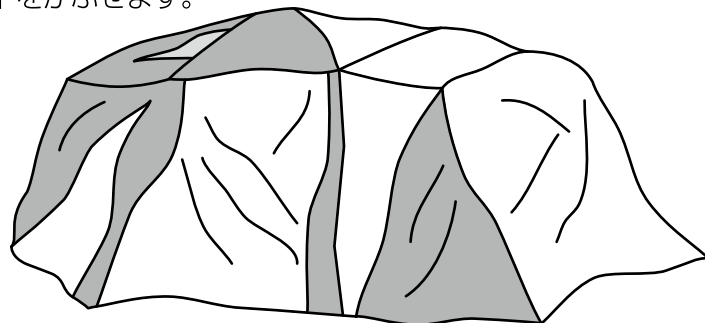
STEP18 ポールの端を、インナーテントフロント側の残っているエンドピンに差し込みます。STEP-18でフライシートをかぶせた時に、前室を作るために必要になります。



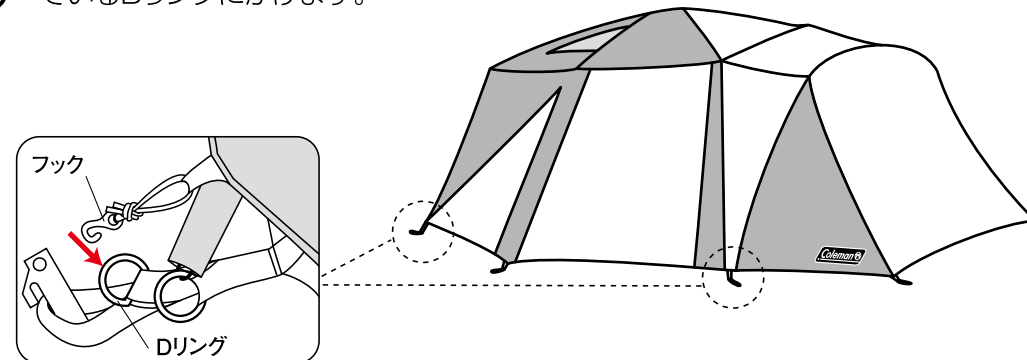
注意 ポールを差し込む際は、指などははさまないように気をつけてください。

VIII フライシートをかぶせる

STEP19 フライシートをかぶせます。



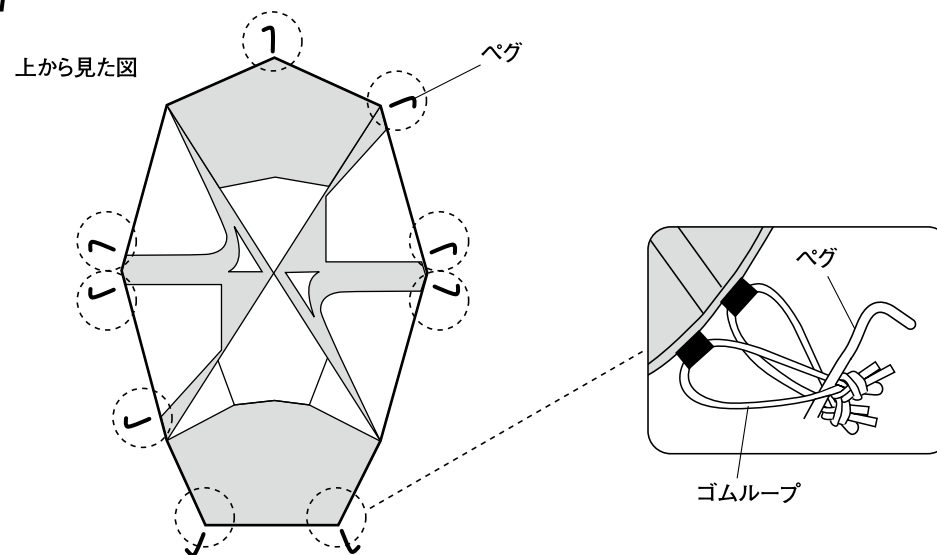
STEP20 フライシートの端についているフックを、インナーテントコーナーのループについているDリングにかけます。



STEP21 フライシート内側にあるベルクロテープを、それぞれのポールにとめて固定します。

IX ペグで固定する

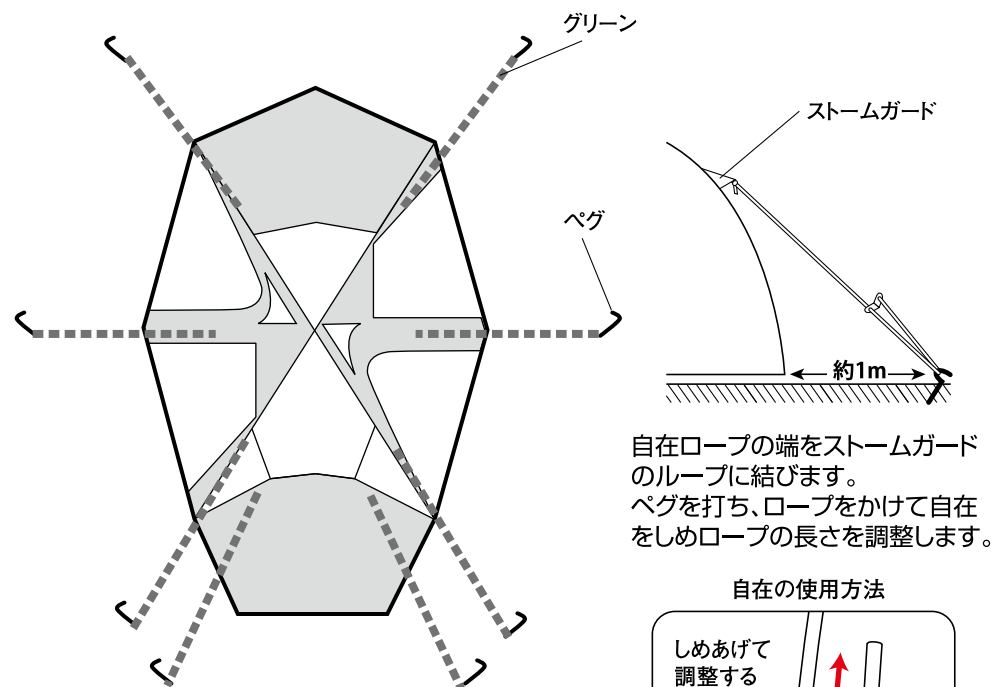
STEP22 フロント、リア、サイド側のゴムループを張り出し、ペグで固定します。



注意 ペグで固定する前に、必ずファスナーを閉じておいてください。ファスナーを開けたまま固定すると閉じられなる場合があります。

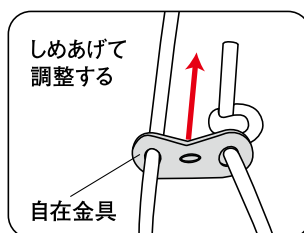
X ロープを張り固定する

STEP 23 ストームガードシステム(ストームガードに付属のロープを結び、ペグで固定する方法)により、テントの安定性を高め、フライシートとインナーテントの接触を防ぎます。両側面にあるセンターループ及びストームガードに付属のロープを結び、図のようにペグで固定します。

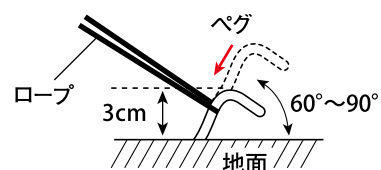


自在ロープの端をストームガードのループに結びます。ペグを打ち、ロープをかけて自在をしめロープの長さを調整します。

自在の使用方法



上図の要領にてロープをセットし、本体から約1m程離れた位置にペグ打ちして固定します。自在をしめあげて、ポールが前後左右に大きく動かないよう調節してください。



ペグは60°~90°の角度に打ち込むと風に対して強く設営できます。



注意

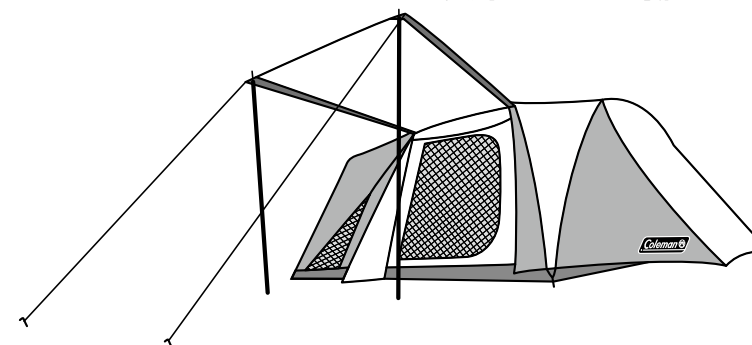
大きなサイズのドームは構造上、風の抵抗を受けやすくなっています。「ストームガード」を必ずご活用ください。

XI キャンピーを活用する

STEP 24 キャンピーとして活用する場合は、付属のキャンピーポールを使用します。



サイドのフラップをキャンピーとして使用することも可能です。



注意

雨天時にキャンピーを活用する際は、水がたまりやすくなりますので、傾斜を作るか、中央部にロープ(別売)を結びペグ止めてして雨水を流してください。



注意

風の強い時は、必ずキャンピーを閉じてください。ポールが折れる可能性があります。

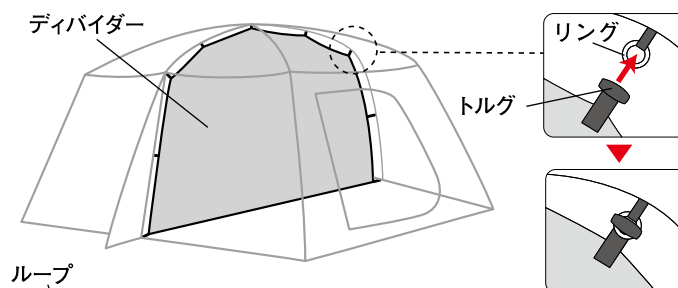
●ドアアンダーベンチレーションの活用

ドアの下部のみをメッシュにすることで効果的に室内の空気を循環させることができます。



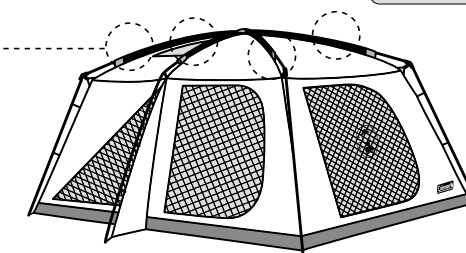
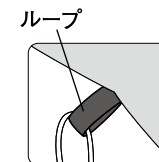
●ディバイダー(仕切り)の活用

インナーテントの中央部には、ディバイダー(仕切り)を取り付けることができます。図のように、インナーテントについているリングに、ディバイダーの端についているトルグを通してとめてください。



●インナーテントのループの活用

インナーテント天井上部にループがついています(6カ所)。ロープなどを通し、小物をかけたりすることができます。



注意

強く引っ張るとループが破損する場合があります。